

## 2014 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 1 月 31 日作成)

小委員会名	住宅地計画小委員会	主 査 名：田上健一 就任年月：2012 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (住宅計画運営委員会)	委員長名：大原一興 主 査 名：黒野弘靖
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～ 2016 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅地の現代的課題を解決するために、空間・社会・文化・制度などの多面的な視点で、再生手法を検討する。</li> <li>・震災復興住宅地づくりに向けた新たな計画理論・計画技術の構築と具体的な提言・実践を行う。</li> </ul>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	田上健一 (九州大学)、森永良丙 (千葉大学)、花里俊廣 (筑波大学)、徳尾野徹 (大阪市立大学)、郷田修身 (芝浦工業大学)、阿部順子 (椙山女学園大学)、小浦久子 (大阪大学)、横山俊祐 (大阪市立大学)、菊地成朋 (九州大学)、大月敏雄 (東京大学)、寺川政司 (近畿大学)、野澤康 (工学院大学)、田中友章 (明治大学)、伊丹康二 (大阪大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	住宅地生成 WG (震災復興住宅地をはじめとする再生を必要とする住宅地の課題や再生計画の研究・理論に関する情報を収集し、体系的に整理する。さらに、再生・復興の具体的な計画手法に関して、実践例の収集と評価、小委員会での検討に基づく震災復興住宅地の再生デザインを実践的にケーススタディとして提起する。)	
2014 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s20/">http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s20/</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	研究会：「復興公営住宅の現状、東南アジア都市の居住政策その他」
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 震災復興住宅地づくりに関連する情報収集は不十分であった。</li> <li>2. 住宅地再生事例リスト作成継続中。</li> </ol>
委員会活動の問題点・課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 住宅地再生に係わる研究会開催・資料作成についての検討。</li> <li>2. 延期されている刊行企画の再検討。</li> <li>3. 海外事例に関する研究会規格。</li> </ol>

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

\*表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。